

指定管理者候補者選定結果

1. 対象施設及び指定期間

- (1) 施設名称 川棚大崎海水浴場・レクリエーション施設
- (2) 所在地 川棚大崎海水浴場（川棚町小串郷272番地 他）
レクリエーション施設（川棚町小串郷217番地 他）
- (3) 指定期間 令和7年4月1日～令和10年3月31日

2. 募集の方法

公募による

3. 申請団体（届出順）

- ・株式会社ジェイレック
- ・B社
- ・C社

4. 審査等の経過

| 日 程 | 内 容 | 備 考 |
|--------------|--------------------|---------|
| 令和6年5月13日（月） | 公募に係る事前説明会 | 5事業者参加 |
| 令和6年5月22日（水） | 公募に係る現地説明会 | 5事業者参加 |
| 令和6年6月10日（月） | 提出書類Aの提出 | 3事業者提出 |
| 令和6年6月13日（木） | 資格要件審査結果通知 | 3事業者へ通知 |
| 令和6年7月1日（月） | 提出書類Bの提出 | 3事業者提出 |
| 令和6年7月23日（火） | 審査委員会（プレゼンテーション審査） | 3事業者参加 |

5. 審査方法

『川棚大崎自然公園川棚大崎海水浴場・レクリエーション施設指定管理者募集要項』に基づき、応募者から提出された提出書類Aについて、企画観光課において資格要件への適合、その他の形式的要件について審査を行い、応募された3事業者について適格と判断しました。

7月23日に開催した審査委員会において、提出書類Bについて3事業者から対面方式による事業計画等の内容の説明を受け審査を行いました。

審査項目については、同要項（別紙3）の項目ごとに採点方式により審査を行い、採点が最も高かった株式会社ジェイレックを指定管理者として適当と判断し、第一順位候補者として選定しました。

6. 審査結果（採点結果は別紙のとおり）

- ・第一順位候補者 株式会社ジェイレック

施設の管理、運営については、宮崎県をはじめ多くの体育施設や運動公園の指定管理の運営実績があり、海水浴場についても宮崎県延岡市の管理業務の委託実績があり、安全管理も含めて適正な管理が期待される。また、多くの施設の管理運営実績のノウハウを活かした町民の平等利用の確保面や事業所としての経営能力、低コストでの管理運営についても実効性の高い提案である。

町の観光振興やスポーツ振興との連携についても全面的な協力体制による対応に加え、スポーツキャンプ団体の新規受入れや各スポーツの交流大会等の開催による町内各所との連携の提案など、施設を最大限活用できる提案となっている。

7. 審査会総評

第一順位候補者については、南九州内を中心に人工芝コート含む多くのスポーツ施設やテニスコートの管理業務、海水浴場の運営委託の実績があり、施設の設置目的に沿った企画提案を含め総合的に高い評価となった。

8. 管理者の決定

第一順位候補者として選定された団体を指定管理者として指定する議案を、令和6年9月議会定例会に提出し、当該議案が可決された場合に、同団体が指定管理者として決定されます。

川棚町観光施設指定管理者等に係る審査委員会 審査評点表

| 選定の基準 | 審査項目 | 配点 | (株) ジェイレック | B社 | C社 |
|--|--|-----|------------|-----|-----|
| 1. 事業計画書に基づく当該施設の運営が、町民の平等な利用を確保するものであること (30点) | ①管理運営に対する基本方針 ・施設運営のための運営方針は適切か。 ・施設の管理運営に対する意欲・姿勢はどうか。 | 50 | 42 | 42 | 40 |
| | ②町民の平等な利用の確保 ・事業内容等が一部の町民・団体に対して不当に利用を制限又は優遇するものではないか。 | 50 | 43 | 42 | 43 |
| | ③要望、意見、苦情への対応 ・町民の意見、要望の把握・反映の対応は適切か。 ・苦情処理の対応策は適切か。 | 50 | 44 | 38 | 42 |
| 2. 事業計画書の内容が当該施設の設置目的を最も効果的に達成するものであること (60点) | ①利用者の満足度の向上に関する提案 ・利用者の快適性や施設の維持管理の方法について、具体的な提案がなされているか。 | 75 | 55 | 56 | 54 |
| | ②利用者の増加を図るための取り組みに関する提案 ・大崎半島地域の魅力を活用したイベント等の実施や、広報の充実について具体的に示されているか。 | 75 | 57 | 58 | 55 |
| | ③町の観光振興方策との連携 ・町が定める観光振興方策との連携が具体的に示されているか。 ・地元（町内）事業者及び地域住民との連携が具体的に示されているか。 | 75 | 56 | 62 | 53 |
| | ④その他、施設の効用を最大限に発揮できる提案 ・施設の設置目的を十分理解しているか。 ・施設の効用を最大限に発揮できる提案がなされているか。 ・施設の改修や改築を想定している場合、関係機関と協議を行い実現可能な提案となっているか。 | 75 | 60 | 51 | 54 |
| 3. 事業計画書に沿った運営等を安定して行うための十分な能力を有しているものであること (40点) | ①経営能力について ・事業収支計画が現実的であるか。 ・管理運営にかかる経費の内容は妥当か。 | 50 | 40 | 35 | 37 |
| | ②管理・運営業務の効率化に関する考え方・提案 ・管理・運営業務の効率化に関する方策は的確であるか。 ・収入について、稼働率や利用料金等を現実性のある水準とした妥当な内容となっているか。 | 50 | 42 | 34 | 37 |
| | ③人的体制の確保・研修体制 ・職員の雇用に関する基本的な方針はどうか。 ・職員の配置計画及び勤務体制は適切か。 ・職員の研修や育成等、円滑に施設の運営開始を迎えられる提案となっているか。 | 50 | 42 | 35 | 38 |
| | ④事業計画の実現可能性（継続性、安定性） ・指定管理者の財務の健全性と安定性を確保できる提案となっているか。 ・各行政機関との連携について具体的に示されているか。 ・法人（団体）の財務状況は良好であるか。 | 50 | 42 | 37 | 38 |
| 4. 安全管理に対する対応 (10点) | ①災害及び事故等の対応など、危機管理に対する対応 ・事故等緊急事態が発生した場合の対応策は十分か。 ・災害発生時、及び災害が懸念される場合の利用者の安全を確保できる対応になっているか。 | 50 | 39 | 36 | 39 |
| 5. 労働福祉の状況 (10点) | ①雇用に対する考え方 ・職員の賃金は適正か。 ・労働条件は適正か。 | 50 | 40 | 35 | 38 |
| 合 計 | | 750 | 602 | 561 | 568 |